

投資事業評価調書(新規)

| | | | | | |
|-----|-----|---------------------|-----------------------|----|----------------|
| 課室名 | 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠) | 内線 | 4459 (4465) |
|-----|-----|---------------------|-----------------------|----|----------------|

| 事業種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 億円 |
|--------|------|---------------|--------|--------|--------|
| | | 通常砂防事業 北脇川 | 姫路市 大塩 | | 約 1.5 |
| 所在地 | | | | 着工予定年度 | 完成予定年度 |
| 姫路市 大塩 | | | | H12年度 | H15年度 |

| 事業目的 | 事業内容 |
|--|----------------------------|
| 土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域医療・福祉の拠点である播磨大塩病院と老人ホームを保全する。 | ・ダム工 1基 (H=8.0m, L=63m) |

| 評価視点 | |
|-------------------|---|
| (1)必要性 安全・安心 | ・北脇川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃も広範囲に及んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象:人家=1戸、公共施設=市道 災害弱者関連施設=播磨大塩病院,老人ホーム ・災害弱者関連施設の総点検で重要施設に位置づけられている。 |
| 地域の活性化 | ・地域医療,福祉の基幹施設である播磨大塩病院及び老人ホームを保全することによって、地域の医療,福祉のより一層の推進に寄与する。 |
| 快適性・ゆとり | ・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより生態系の破壊を軽減する。 |
| その他 | ・地元からの事業化への要望が強い。 |
| (2)有効性・効率性 有効性 | ・病院と老人ホーム施設及び施設に関連する方々の人命が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 |
| 効率性 | ・地元からの要望が強く、事業化への協力体制づくりは十分確保できている。 |
| (3)環境適合性 | ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 |
| (4)優先性 | ・災害弱者関連施設対策五箇年計画に位置づけられている。 ・土石流の被害想定区域には、播磨大塩病院と老人ホームがあり、災害弱者の重要施設に位置づけられている。流域では渓岸・山腹の荒廃が進み、土砂流出の危険性は高い。このため上記施設と施設に関係する人命を保全するため、早急な対策が必要である。 |

| | | | |
|-------|------|---|----------------------|
| 評価の結果 | 着手妥当 | 左 | 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。 |
|-------|------|---|----------------------|